

登録コード	MA726100	開講年度	2026			
授業科目名	老年看護学演習				担当教員	會田 信子 他
英文授業名	Practice in Gerontological Nursing				副担当	伊澤 淳・塚田 尚子
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1時限 月曜・6時限	対象専攻 / 学年
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	選択科目
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS26カリ(保健学), MS25カリ(保健学), MS24カリ(保健学), MS23カリ(保健学)					
	【保健学】保健・医療・福祉の現場において独創的な観点で研究を推進する能力を有する。			医療・ケアの場で使用される測定尺度・指標開発の基礎知識を習得するとともに、老年看護学領域における研究課題やデザイン、倫理的課題を評価する能力を養うこと。		
(2)授業の概要	医療・ケアの場で使用される測定尺度・指標開発の基礎知識を習得するとともに、尺度・指標開発に関連した先行研究文献からより信頼性・妥当性の高い尺度・指標を開発するための研究方法のあり方を探求する。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。 本授業、担当教員の保健医療福祉職（看護師,医師）としての実務経験を活かして講義を行います。					
(3)達成目標（一般学習目標GIO）	尺度・指標開発の基礎知識を習得するとともに、尺度・指標開発に必要な研究実践能力を涵養する。					
(4)達成目標（個別行動目標SBOS）	1) 尺度・指標開発における信頼性・妥当性の意味と統計学的手法を説明できる。 2) 医学的指標および老年看護学分野における研究論文をレビューし、クリティークすることができる。					
(5)授業計画	第01回 オリエンテーション【會田】 第02回 尺度開発の基礎 : 歴史的変遷【會田】 第03回 尺度開発の基礎 : 信頼性の検証【會田】 第04回 尺度開発の基礎 : 妥当性の検証【會田】 第05回 尺度開発の基礎 : 尺度・指標開発に必要な統計【會田】 第06回 尺度開発の基礎 : 尺度・指標開発のプロセス【會田】 第07回 医学的指標開発論文のクリティーク 【伊澤】 第08回 医学的指標開発論文のクリティーク 【伊澤】 第09回 医学的指標開発論文のクリティーク 【伊澤】 第10回 医学的指標開発論文のクリティーク 【伊澤】 第11回 老年看護学分野における尺度開発論文のクリティーク 【塚田】 第12回 老年看護学分野における尺度開発論文のクリティーク 【塚田】 第13回 老年看護学分野における尺度開発論文のクリティーク 【塚田】 第14回 老年看護学分野における尺度開発論文のクリティーク 【塚田】 第15回 総括 授業アンケートの実施【會田】 開講日時は受講学生と検討のうえ決定します。					
(6)授業の進め方	原則として、学生のプレゼンテーションと、学生・教員とのディスカッションで進めます。 クリティークは、学生が興味関心のあるテーマの研究論文(和文・英文)を選んで、クリティーク内容をプレゼンテーションし、それについて教員とディスカッションします。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	【事前学習】選択した研究論文についてのプレゼン内容をまとめ、配付資料を作成して臨んで下さい。 【事後学習】その日に学んだ内容を、自分の言葉で分かりやすく説明し、事例を提示できるよう学びを深めて下さい。					
(8)成績評価の方法	成績評価は、1)プレゼンテーションの内容と発表態度70点、2)ディスカッションへの参加度30点を合計したものを最終評価とします。					
(9)成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 1) プレゼンテーションの内容と発表態度は、下記の5項目で評価します。 内容の適切性(15点): 指定課題の内容にそって、十分な情報収集や分析のもと、適切に内容がまとめられている 構成の適切性(15点): 順序たてて論理的に構成されており、知識と自分の考え・疑問等とを区別できている 資料の適切性(15点): わかりやすく、見やすい表現で、図表・絵・写真などを効果的に使用している 発表姿勢の適切性(15点): 視線や声量、話すスピードが適切・明確で、一貫性のある誠実な態度で発表している 質問への対応(10点): 質問に適確・簡潔に答え、自身の不明点を明確に伝えることができる 2) ディスカッションへの参加度は、下記の3項目で評価します。 論理性(10点): ポイントをおさえた論理的な意見を、結論・理由(根拠)・具体例を区別して述べている 主体性・積極性(10点): ディスカッションの活性化のために、建設的・真剣な態度で参加できている 協働性(10点): 他者の意見等をよく聴いて、感情的にならずに、アサーティブな態度で参加できている					

(10)学生へのメッセージ並びに質問,相談への対応	メールでの質問・相談は随時受け付けます。訪室する時は、事前にメールで日時調整をして下さい。 會田信子：aida@shinshu-u.ac.jp 伊澤 淳：izawa611@shinshu-u.ac.jp 塚田尚子：igarashi_naoko@shinshu-u.ac.jp
【テキスト,教材,参考書】	■テキスト 1) 村上宣寛：心理尺度のつくり方,北大路書房,最新版． ■参考書 1) Gray JR,Grove SK / 黒田裕子,逸見功(監訳)：パーンズ&グローブ 看護研究入門(原著第9版),エルゼビア,最新版． 2) Polit DF,Beck CT / 近藤潤子(監訳)：看護研究(第2版)—原理と方法,医学書院,最新版．